

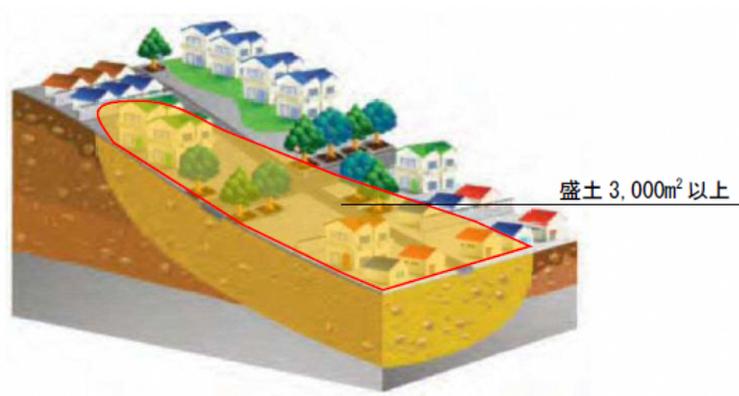
大規模盛土造成地とは

大規模盛土造成地には、「谷埋め型」と「腹付け型」の2種類があり、盛土の面積や高さなどにより、次のように定義しています。

■谷埋め型大規模盛土造成地

谷を埋め立てた宅地で盛土の面積が3,000平方メートル以上の盛土造成地

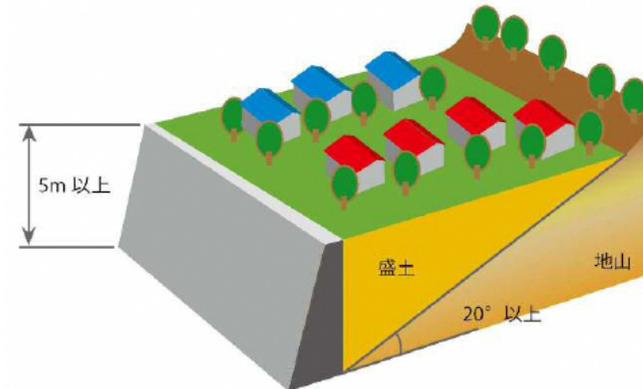
【谷埋め型】



■腹付け型大規模盛土造成地

傾斜地に盛土した宅地で盛土する前の地山の傾斜が20度以上で、かつ、盛土の高さが5m以上の盛土造成地

【腹付け型】



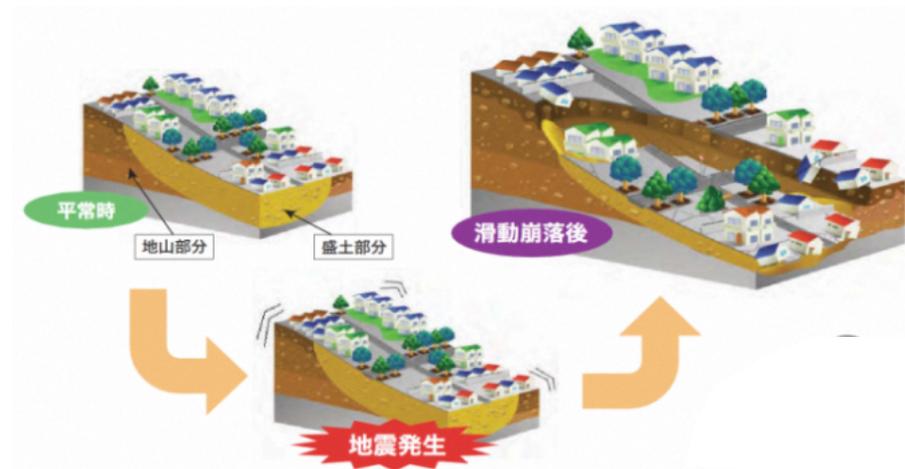
(国土交通省「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン及び同解説」より)

滑動崩落のしくみ

滑動崩落とは、地震時に盛土造成地において、盛土全体又は大部分が、主として盛土底面部を滑り面として旧地形に沿って流動、変動又は斜面方向へ移動することです。



滑動崩落による被害状況（兵庫県南部地震）
（国土交通省「わが家の宅地安全マニュアル」より）



（国土交通省「宅地耐震化の取組に関するパンフレット」より）

大規模盛土造成地の抽出方法

宅地造成前後の新旧の地形図などを重ね合わせて、造成により地盤が高くなっているところを探し、大規模盛土造成地の2つの定義に該当する箇所を抽出しています。

